

修学旅行の動向についての講演を聞く県内の旅行関係者ら＝28日、那覇市の沖縄都ホテル



# 修学旅行は「体験型」に



日本修学旅行協会  
(日修協)の河上一雄  
理事長が28日、那覇市

の沖縄都ホテルで「修学旅行を主とした教育旅行の動向と今後の方向性」をテーマに講演した。河上氏は「修学旅行の誘致には豊かな自然や文化に触れる体験、文化の継承と創造に寄与する視点を持つ旅行内容が極めて重要



河上一雄氏

だ」と分析。これまでの見学を中心と

## 学習内容見直しも必要

### 日修協・河上氏が講演

した修学旅行から、民泊を含めた体験滞在型旅行が主流になってくると説明した。

また、長崎県の事例を挙げ、2002～09年まで修学旅行生が年々減少した理由は沖縄への修学旅行の増加や多様な平和学習地が求められていることが考えられると指摘。一方で、今後沖縄戦を経験した人の減少などに伴い、学習内容の再構築も必要になつてくるとした。

同講演会は、沖縄観光コンベンションビューローが主催し、約120人の旅行関係者が参加した。